

## 〔国際会議開催〕

申請者	東北大学 教授 田中 秀治	2155014
国際会議名称	IEEE-NEMS 2016 Matsushima Bay and Sendai MEMS City	
開催期間	2016 年 4 月 17 日～4 月 20 日	
開催場所	エルパーク仙台 (仙台市青葉区) ホテル松島大観荘 (宮城県宮城郡)	
申請者の役割	General Chair	

概要：

## ◆目的・意義

IEEE-NEMS 2016 は、今後、益々重要となる人間と機械とのインターフェースを可能にしている MEMS を中心としつつ、その間口をナノ材料や分子システムに広げ、ナノテクノロジーを広く包含するアジア・太平洋圏の活発な研究開発活動を取りこんだ IEEE Nano Council のフラッグシップ会議である。当国際会議は、今後、IoT (Internet of Things) の普及によってその重要性が桁違いに大きくなる MEMS・NEMS 関連技術を、分野融合によって発展させることを目的としている。

## ◆成果／効果

4/17 (日) 午前中は、エルパーク仙台にて MEMS のパイオニアである東北大学 江刺正喜教授による “Premium Tutorial” を開催した (参加者：約 150 名)。午後は Technical Tour として東北大学の MEMS 関連研究施設 (マイクロシステム融合研究開発センター (クリーンルーム, Sendai MEMS Show Room, 近代技術史博物館), 工学部機械系共同棟クリーンルーム, マイクロ・ナノマシニング研究教育センター) の見学を行った。夕方からは共催の International Contest of Nano/Micro Application Contest 2016 (iCAN'16) 国内大会と合同の Reception を行った。

4/18 (月)～4/20 (水) 午前中は、会場をホテル松島大観荘に移し IEEE-NEMS 2016 の本会議を開催した。当国際会議には 315 件の論文投稿があり、そのうち 274 件を採択した。採択された論文は 11 のカテゴリーに分けられ、合計 43 のセッションにおいて、140 件がオーラル、134 件をポスターにて発表を行った。4/18 のセッション終了後、巨大な宴会場にて日本式の Banquet (大宴会) を開催した (参加者：380 名)。4/20 午後は東日本大震災の津波被災地の復興状況を見るエクスカージョンを行った。また、当国際会議開催中に展示会を開催し、22 社の企業等に出展頂いた。この展示会では仙台・松島地域の名物の試食販売も行い、地域振興にも貢献した。